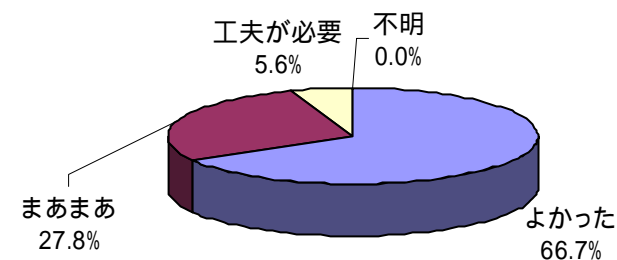


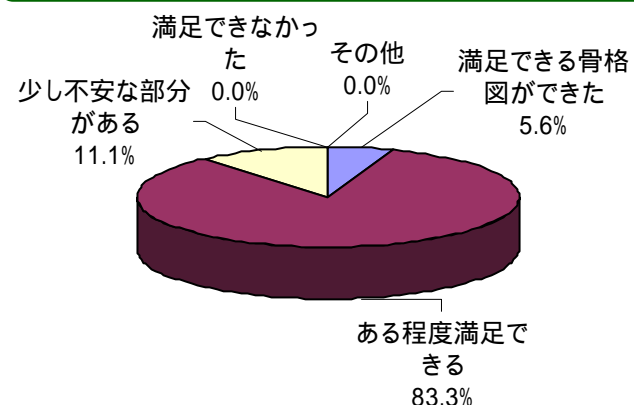
参加者アンケート結果

研究会終了後にいった参加者アンケートの結果です。(一部抜粋)

ワークショップの印象は？



骨格図のできは？



自由意見

- オーナーさんの参加を増やしたい
- 毎回班分けは人を知ることでも良い
- みなさんとの街のモデルになるような街をつくりたい
- いろいろ難しいがいろんな話ができました
- ダイエーさん、高校など地域を取り巻く人々に来てもらって意見を聞かせて頂きたい
- よい雰囲気の中で研究会を進めている
- もう少し多くの人に参加していただければ
- 下大利地区は街としてのポテンシャルは十分。今後の発展が十分期待できればと思いました

次回のお知らせ

第22回 下大利駅西口まちづくり研究会 は・・・

まちづくりにおいては、部分だけではなく常に全体とのバランスを考えることが大切です。今回は、今回まちの重要ポイントとして共通にあげられた、駅前広場を切り口として西口全体の将来の姿を考えていきます。

下大利駅西口まちづくりビジョンは、多くのみなさんとつくっていきたくて考えています。西口を良くしたい！子ども達の住みやすいまちにしたい！そんな想いをお持ちの方ならどなたでも参加してもらってかまいません。みなさんお誘い合わせの上ぜひご参加下さい。

お問合せ先

大野城市役所 都市計画課 街づくり担当
高橋、寺崎、福田
電話：501-2211 (内線 314,315)
FAX：572-8432
e-mail: kentoshi@city.onojo.fukuoka.jp

下大利駅西口まちづくり研究会
ホームページ公開中！！
<http://city.onojo.fukuoka.jp/>
西鉄沿線のまちづくりなど
大野城の今がわかる情報が満載！！
ぜひご覧になって下さい。

下大利駅西口まちづくり研究会だより 21号

はじめに

平成13年度より始まった、下大利駅西口研究会も今年で4年目を迎えました。都市計画課のスタッフも入れ替わり、心機一転研究会だよりもリニューアルしました。これまで20回の研究会を開催し、アンケート調査や商店街視察を行いました。現在はその結果をもとに、私達は将来下大利駅西口をどのようにしたいか考え、「下大利駅西口まちづくりビジョン」としてまとめていこうという段階に入っています。ビジョンづくりは全5回のワークショップ形式で行い、第21回の研究会はその3回目となります。



第21回 研究会

今回の研究会では、これまでのまち歩きや課題の整理を踏まえて、いよいよ10年後の将来を議論していきましました。

まず、下大利駅周辺の駅前広場や道路整備の範囲を地図に記入し、みんなで10年後をイメージすることからはじめました。「10年後、東口と西口の乗降客は何人ずつ？」「快適な歩行者ネットワークが必要なのは？」「まちの重要ポイントは？」といったことからまちの骨格図を作成しました。

ビジョン策定までの流れ

第19回下大利駅西口まちづくり研究会

平成16年1月19日 『まちを歩く』
まちの魅力と問題点探そう！

第20回下大利駅西口まちづくり研究会

平成16年3月24日 『課題の整理』
解決すべき課題を探ろう！

第21回下大利駅西口まちづくり研究会

平成16年5月19日 『人の動き、まちの姿』
まちの骨格図をつくろう

第22回下大利駅西口まちづくり研究会

平成16年7月頃 『将来の姿』
西口の将来をイメージしよう

第23回下大利駅西口まちづくり研究会

平成16年9月頃 『まちづくりに向けて』
将来のために何が出来るだろう！

下大利駅西口 まちづくりシンポジウム

下大利駅西口まちづくりビジョン策定

第21回 プログラム

- 19:00 開会
- 19:05 前回の振り返り
- 19:15 参加者紹介・グループ分け
- 19:35 下大利駅周辺の将来の姿
- 19:55 まちの骨格図をつくろう
- 20:45 発表
- 21:00 閉会

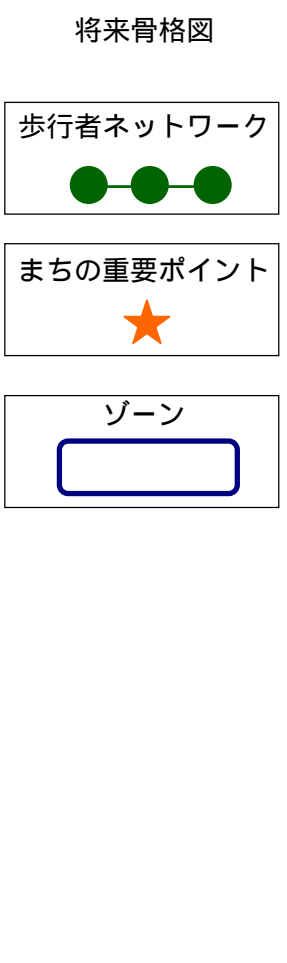
まちの骨格図

3つのグループに分かれて、10年後の下大和駅周辺の骨格図を作成しました。バス通りが今後のまちづくりの中心になっていくことは各グループに共通しています。その他、若者をひきつけることが大切、いかに立ち寄りやすい店にするか、東口と西口のすみわけが必要といった意見が出されました。

1班

10年後に下大和駅の乗降客を2万人と仮定すると...

東口：15,000人 西口：5,000人
バス停が東口になると電車を降りる人も東口を利用するんじゃないかな。筑紫中央高校や下大和団地、水城からのバスの利用者が東口に集中するかもね。

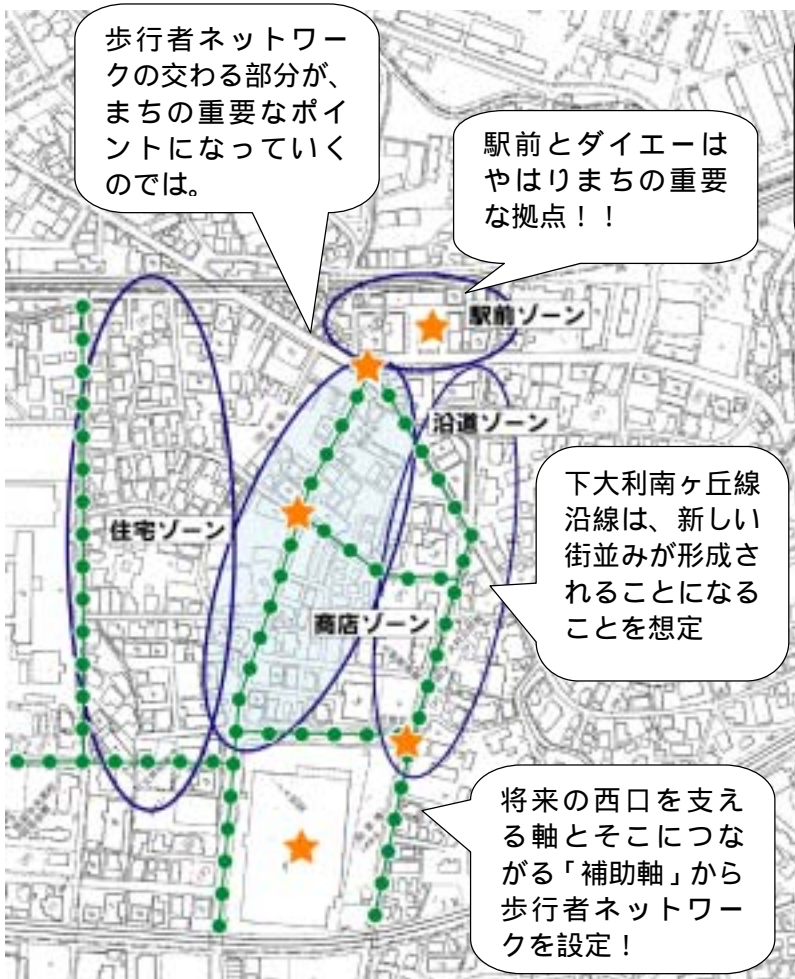


筑紫中央高校の生徒のように若いエネルギーを集約すれば発展することができるのではないかな。

若者をひきつける！！

2班

東口：8,000人 西口：12,000人
バスを利用する人も買い物で寄り道すると思うよ。東口と西口の将来の人口予測やバスの利用客数の把握がいるんじゃないかな。



下大和の賑わいの中心は駅の利用者。この利用者がいかに下大和のまちを利用し、移動しやすくなるかがポイント。

駅の利用者をひきつける！

3班

東口：8,000人 西口：12,000人
下大和南ヶ丘線の交通量を検討して、バスは東口、人と車は西口で割り振る必要があるよね。西口は、JRと西鉄の間で、便利だから人は集まると思うよ。



バス通りを一方通行にして歩きやすくする。下大和南ヶ丘線により分断されないように配慮する必要があるよね。

人の流れができるまち！

議論の様子と各班のポイント